

平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成28年8月5日

上場会社名 塩水港精糖株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2112 URL http://www.ensuiko.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山下 裕司  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理グループ長 (氏名) 酒井 英喜 (TEL) 03-3249-2381  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月5日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	7,006	△1.7	329	64.3	427	79.7	314	95.7
28年3月期第1四半期	7,126	—	200	—	237	—	160	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 119百万円(△82.2%) 28年3月期第1四半期 667百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	11.61	—
28年3月期第1四半期	5.93	—

(注) 28年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は、会計方針の変更に伴い遡及適用が行われたため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	23,890	6,800	28.5
28年3月期	24,484	6,816	27.8

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 6,800百万円 28年3月期 6,816百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,700	0.6	420	△6.5	530	13.2	400	30.3	14.76
通期	27,000	0.6	750	△26.5	870	△13.9	630	1.7	23.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

対前期増減率及び対前年同四半期増減率は、会計方針の変更に伴い遡及適用が行われたため、遡及処理後の数値との比較によるものであります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	35,000,000株	28年3月期	35,000,000株
29年3月期1Q	7,890,604株	28年3月期	7,890,604株
29年3月期1Q	27,109,396株	28年3月期1Q	27,109,409株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国経済の景気減速懸念や英国のEU離脱問題などの影響により急速に円高が進んだことで、企業業績や景況感が後退するなど、先行きの不透明感が高まっております。

このような状況の中、当社グループは基幹事業である砂糖事業（国内精糖及びその他糖類）並びにバイオ事業における売上高・利益計画の達成に向けて全力で取り組んで参りました結果、当期の業績及びセグメントごとの業績は以下のとおりとなりました。

なお、当第1四半期連結累計期間より、各報告セグメントの収益認識基準を変更し、遡及適用しております。当変更に伴う影響につきましては「（セグメント情報等）」に記載しております。

#### ①砂糖事業

海外原糖市況は、ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限、1ポンド当たり）において15.40セントで始まり、原油等の他商品市場の下落基調を背景に4月中旬には14.00セントに下げましたが、インドやタイ、ブラジルといった主要生産国の天候懸念を背景に上昇を続け、6月下旬には20.94セントの高値をつけ、同水準のまま20.15セントで当期を終了しました。

国内市中価格（日本経済新聞掲載、上白糖大袋1kg当たり）は、期初187～188円で始まり、同水準のまま当期を終了しました。

精糖及び異性化糖などの国内販売は、異性化糖を中心に大手飲料ユーザー向けが順調に推移しましたが、精糖の販売数量減少により売上高は前年同期を下回りました。一方、適切な原料調達と製造コスト低減に努めました結果、セグメント利益は前年同期を上回りました。

以上の結果、当期における砂糖事業全体の売上高は6,492百万円（前年同期比3.2%減）、セグメント利益は446百万円（前年同期比7.4%増）となりました。

#### ②バイオ事業

オリゴ糖事業は、前年度から各種メディアで取り上げられている『腸内フローラ』特集の効果に加え、主要量販店等への販売促進活動の強化に努めたことにより「オリゴのおかげ」の販売数量は好調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

サイクロデキストリン事業は、食品及び非食品への拡販に努めましたが、売上高はほぼ前年並みとなりました。

以上の結果、当期におけるバイオ事業全体の売上高は510百万円（前年同期比22.6%増）、セグメント利益は123百万円（前年同期比230.5%増）となりました。

#### ③その他

その他の事業につきましては、ニューESRビル事務所の一部賃貸等を行い、所有不動産の活用にも努めました結果、売上高は31百万円（前年同期比2.3%減）、セグメント利益は12百万円（前年同期比29.6%減）となりました。

以上の結果、当期の売上高は7,006百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益は329百万円（前年同期比64.3%増）、経常利益は427百万円（前年同期比79.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は314百万円（前年同期比95.7%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べて593百万円減少し、23,890百万円となりました。

これは主に、現金及び預金337百万円の減少、原材料及び貯蔵品245百万円の減少等によるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べて577百万円減少し、17,090百万円となりました。

これは主に、短期借入金が300百万円増加した一方で、長期借入金が465百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて16百万円減少し、6,800百万円となりました。

これは主に、利益剰余金179百万円が増加し、その他有価証券評価差額金が204百万円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結会計期間の業績は概ね当初予定通りに推移しており、第2四半期連結累計期間及び通期の業績につきましても、現時点では、平成28年5月10日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額はありません。

(収益認識基準の変更)

当社及び連結子会社では、従来、主として出荷基準により収益を認識しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、契約条件等に基づき納品日に収益を認識する方法に変更しております。この変更は、顧客との取引関係において実態により即したものにすべく、請求の計上日を納品日に変更することに顧客との間で合意したことから、売上の実態をより適切に反映させるために行ったものであります。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第1四半期連結累計期間および前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表および連結財務諸表となっております。

これにより、遡及適用前と比較して、前第1四半期連結累計期間の売上高は26百万円減少、売上総利益、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ3百万円減少しております。また、前連結会計年度の期首の純資産額に対する累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は11百万円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響については、「(セグメント情報等)」に記載しております。

### (4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,179	842
受取手形及び売掛金	1,647	1,741
商品及び製品	1,220	1,336
仕掛品	194	252
原材料及び貯蔵品	1,178	932
繰延税金資産	101	66
その他	1,162	1,164
流動資産合計	6,684	6,336
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,824	9,841
減価償却累計額	△5,841	△5,907
建物及び構築物(純額)	3,983	3,934
機械装置及び運搬具	11,541	11,549
減価償却累計額	△9,881	△9,960
機械装置及び運搬具(純額)	1,660	1,589
工具、器具及び備品	429	430
減価償却累計額	△354	△357
工具、器具及び備品(純額)	74	72
土地	5,234	5,234
建設仮勘定	8	18
有形固定資産合計	10,961	10,849
無形固定資産		
ソフトウェア	18	16
その他	26	55
無形固定資産合計	45	71
投資その他の資産		
投資有価証券	4,429	4,184
長期貸付金	1,450	1,458
繰延税金資産	845	924
その他	67	64
投資その他の資産合計	6,793	6,632
固定資産合計	17,800	17,554
資産合計	24,484	23,890

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,068	804
短期借入金	7,150	7,450
1年内返済予定の長期借入金	1,846	1,862
未払法人税等	285	70
未払消費税等	128	198
賞与引当金	76	39
その他	927	964
流動負債合計	11,482	11,390
固定負債		
長期借入金	4,952	4,487
退職給付に係る負債	895	870
その他	336	342
固定負債合計	6,185	5,700
負債合計	17,667	17,090
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,750	1,750
資本剰余金	241	241
利益剰余金	8,502	8,681
自己株式	△3,021	△3,021
株主資本合計	7,472	7,651
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△636	△840
繰延ヘッジ損益	△26	△20
退職給付に係る調整累計額	7	10
その他の包括利益累計額合計	△655	△851
純資産合計	6,816	6,800
負債純資産合計	24,484	23,890

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	7,126	7,006
売上原価	5,998	5,748
売上総利益	1,128	1,258
販売費及び一般管理費	927	928
営業利益	200	329
営業外収益		
受取利息	9	8
受取配当金	61	59
持分法による投資利益	9	55
その他	2	2
営業外収益合計	82	126
営業外費用		
支払利息	25	27
支払手数料	18	0
その他	0	0
営業外費用合計	45	28
経常利益	237	427
特別利益		
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	238	427
法人税、住民税及び事業税	49	70
法人税等調整額	27	42
法人税等合計	77	112
四半期純利益	160	314
親会社株主に帰属する四半期純利益	160	314



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	160	314
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	545	△203
繰延ヘッジ損益	△24	5
退職給付に係る調整額	△1	2
持分法適用会社に対する持分相当額	△12	△0
その他の包括利益合計	506	△195
四半期包括利益	667	119
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	667	119

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,702	399	24	7,126	—	7,126
セグメント間の内部売上 高又は振替高	5	16	8	30	△30	—
計	6,708	416	32	7,156	△30	7,126
セグメント利益	415	37	18	471	△270	200

(注) 1 セグメント利益の調整額△270百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△270百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,488	491	27	7,006	—	7,006
セグメント間の内部売上 高又は振替高	4	18	4	27	△27	—
計	6,492	510	31	7,034	△27	7,006
セグメント利益	446	123	12	582	△253	329

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分の変更)

前連結会計年度末より、従来「不動産賃貸事業」に含めていた工場設備について、管理区分の変更に伴い、「砂糖事業」及び「バイオ事業」へ含めております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成したものを開示しております。

当第1四半期累計期間より、「不動産賃貸事業」の重要性が乏しくなった為、「その他」に変更しております。

(収益認識基準の変更)

「(会計方針の変更)」に記載のとおり、収益認識基準の変更を遡及適用しております。

これにより、前第1四半期連結累計期間における「砂糖事業」の売上高が20百万円減少、セグメント利益が2百万円減少、「バイオ事業」の売上高が5百万円減少、セグメント利益が1百万円減少しております。